幾本もの道を 確かな一本に束ねて

香取市合併10周年記念式典

平成18年3月27日、佐原市・小見川町・山田町・栗源町の1市3町が合併しました。誕生により新たな名前を得て、自らの姿を見つめ、磨きをかけ、私たちは少しずつ「香取市」という輪郭を持ち始めたのではないでしょうか――。

厳かな雰囲気の中 進行

①宇井市長から表彰を受ける森田朗さん
②佐原中学校・香取中学校・小見川中学校の合同合唱団
③参列した表彰者・来賓
④作文を発表する多田栞由羽さん

香取市を育む人に敬意と感謝

合併10周年記念式典を4月24日に佐原文化会館で開催し、表彰や作文コンクールの発表を行いました。また、この式典に合わせ小野川周辺で山車特別曳き廻しを行いました。

※敬称略・順不同

特別功労表彰

■市民協働の仕組みと香取市まちづくり条例の制定◇森田朗◇鈴木庸夫◇関谷昇

感謝状

■東日本大震災における復旧・復興◇国土交通省関東地方整備局◇陸上自衛隊…第1空挺団特科大隊・東部方面混成団第31普通科連隊・第1師団第1施設大隊・高射学校

一般表彰

統計調査員◇畔蒜昭◇伊東正己◇今泉佑一◇鵜澤幹司◇小倉新一◇金子孝子◇金子正雄◇兼平敏男◇木内政司◇栗山金治◇栗山健◇黒根馨◇佐藤喜子◇鈴木健夫◇鈴木康英◇鈴木義次◇諏訪正基◇髙柴勝久◇多田弘◇鴇崎米藏◇鳥羽一男◇平山毅◇藤ヶ崎元孝◇本宮健一◇弓削ふさ◇吉田和治◇吉野修　**人権擁護委員**◇多田晴雄　**観光・まちづくりの発展**◇大下茂　**交通安全協会**◇飯田美智子◇一箭晴美◇小川和昭◇小川延子◇小川喜勝◇奥村久男◇柿原清子◇金子操◇鎌形邦子◇小林佳敬◇鈴木政男◇芹川秀男◇髙岡太一◇田山和子◇長江博孝◇林功一郎◇八木和男　**交通安全母の会**◇池田雅子◇坂本卯子◇須田美惠子◇多田ひろ子◇根本德子◇林三千惠◇廣瀬登志◇増田弘子　**防犯意識の普及**◇伊奈晃◇齋藤雅之◇髙根英司◇八角和爾◇吉野久雄　**農業の振興**◇髙木甚一◇長嶋敏夫◇平野英之　**消費者協議会**◇大木洋子◇金子節子◇林三千惠　**観光の振興**◇NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会　町並み案内班　**民生委員児童委員**◇青柳さち子◇青柳教明◇荒原禮子◇大原節子◇香取昭一◇金子權之介◇金子眞理子◇合田和子◇坂本正夫◇椎名久子◇篠塚英繼◇菅井武◇須田美惠子◇竹本房子◇千代原千嘉◇林三和子◇本宮大江◇弓削富榮　**保護司**◇淺田早苗◇石田泰紀◇髙橋義夫◇堤文男◇鴇崎すみ江◇宮本榮示　**赤十字奉仕団**◇髙安光子　**食生活改善推進員**◇伊藤はつ子◇老田紀代美◇角田和子◇菊地さよ子◇橘田勝江◇髙橋壽子◇髙安光子◇塚田幸枝◇林三和子◇三ケ尻素子◇茂木淑江◇八本信子　**母子保健推進員**◇伊藤公江◇綛本富子◇木内幸子◇久保木満里子◇向後弘子◇髙橋かつ子◇武田良子◇玉澤正美◇山本トシ子◇渡邊正子◇和田ふみ子　**都市計画の調査研究**◇窪田亜矢　**社会教育委員**◇浅野尚◇榊原廣◇永作成子　**スポーツ推進員**◇畔蒜健二◇飯田美智子◇伊橋貞行◇大﨑保司◇片野富夫◇亀井典子◇日下伸一◇黒川和二◇小林克己◇佐藤善貞◇椎名春枝◇菅佐原伸昭◇菅谷勝一◇鈴木一郎◇髙梨浩◇長崎郁子◇平野彰作◇平山江身子◇藤崎房子◇古林久明◇松本伸一◇宮澤俊隆◇村上光男　**水上スポーツ指導員**◇向後典昭◇七五三昌男◇野中誠一◇堀越慎二　**青少年相談員**◇金子浩章　**伝統文化、文化財の保存・継承・振興**◇絵鳩昌之◇髙橋賢一◇西野元◇福本忠義◇山﨑香芳

10歳の児童を対象とした「作文コンクール」

最優秀賞　**笑顔がいっぱいの香取市**

小見川中央小学校　多田 栞由羽（かゆは）

香取市の人たちは、やさしくて、明るい方がたくさんいます。学校の行き帰りに出会う人は、名前はわからないのですが、「おはよう」と、笑顔であいさつしてくれるので、毎日さわやかな気持ちになります。

そして、私が住んでいる小見川には、すてきな所がたくさんあります。春には、城山公園で桜祭りがあります。花びらが風にふかれ、まい散る様子が、私はとても好きです。夜には、ぼんぼりに明かりが灯り、遠くからでも城山公園が一目で分かります。夏には、百年以上続いている水郷小見川花火大会があります。いろいろな種類の花火が打ち上げられ、私たちの目を楽しませてくれます。なかでも水中花火はとても迫力があります。私にとって夏の楽しみの一つです。秋には、身近に自然を感じられます。水田が黄金色にそまり、辺り一面が金のじゅうたんのようです。木の実もたくさん落ちていて、どんぐりや松ぼっくりを使った小物を作ったりするのも面白いです。冬には、水上スポーツで有名な黒部川に、白鳥がやってきます。えさやりや観察ができて楽しいです。四季を感じられる豊かな自然や、風情ある行事が目白押しの香取市は、私の自まんです。

十年後は、私も二十才です。今度は、私たちが香取市を支える番です。私が大人になったときに考えることは、子どもたちが自然や人と、いっぱいふれあえるまちをつくることです。しん災で閉さになった市民プールの再開や、空き地を利用した大きな公園ができないでしょうか。そして、人間だけでなく、自然やそこに住む動物たちにとっても、かけがえのないふるさとにしていきたいです。明るい未来のために、私も笑顔でがんばります。

佐原の本宿 新宿24町による豪華な山車の饗宴

節目の年に強まる絆 鹿島市、つくばみらい市と協定締結

4月23日 市内――

佐賀県鹿島市との友好都市協定・災害時相互応援協定締結式が行われました。

香取市には、かつて鹿島鍋島藩の領地があり、円通寺（上小川）には初代藩主忠茂の墓所が残っていることを縁に、昭和58年から、両市の行き来が始まりました。

平成24年に鹿島市で伊能忠敬の鹿島市測量200年を記念した事業が企画され、香取市も参加し、お互いの歴史的な縁、友好関係を確認することで「ふるさとの自然、歴史、文化を活かしたまちづくり連携に関する協定」の締結に至りました。

今回、香取市が合併10周年という節目の年を迎えるにあたり、これまで培われてきた友好関係をさらに推進し、教育、文化、産業などの幅広い分野の交流を通じて更なる発展と互いの理解と連携を深めることを目的として「友好都市協定」を締結しました。

今後は、現在実施中の児童交流事業をはじめ、さまざまな分野での交流を進めていきます。また、同時に災害時相互応援協定を締結しました。災害発生時に自治体間で協力することは、相互の住民にとって心強いものとなります。

▲佐賀県鹿島市・樋口市長（左）

始まっています児童交流事業

平成24年から鹿島市と香取市の児童が交互に訪問し、両市の自然や文化に触れながら地元児童と交流をしています。

昨年の7月に鹿島市の児童が佐原の山車の曳き廻しを体験し、一昨年の5月には香取市の児童が有明の自然を生かしたイベント「ガタリンピック」へ出場して親睦を深めました。

▲泥んこで大健闘のガタリンピック

3月16日 つくばみらい市内――

茨城県つくばみらい市との郷土の偉人の交友関係をきっかけとした、「ふれあい交流に関する協定」締結式が行われました。

香取市には伊能忠敬、つくばみらい市には間宮林蔵という大測量家がおり、ともに郷土の偉人として顕彰しています。両市は、この歴史的つながりから、偉大なる郷土の先人を顕彰し、ふるさとを愛し、ふるさとが発展し、未来のまちづくりへとつなげていくため、交流を深めようとこの協定を締結しました。

今後は、平成30年に迎える伊能忠敬没後200年での記念事業の協力や伊能忠敬・間宮林蔵両記念館での交流を進めていきます。

▲茨城県つくばみらい市・片庭市長（左）

香取市は、次の都市と協定を結んでいます。

【姉妹都市】 兵庫県川西市

【友好都市】 福島県喜多方市
佐賀県鹿島市

【ふれあい交流に関する協定】
茨城県つくばみらい市

これから

誕生して10年となる香取市の人口は7万9647人です（4月1日現在）。合併時と比較して約9千人、1割近く減少しました。ここで問われてくるのが、地域に進んで関わろうとする人がどのくらいいるかです。まちに関心を寄せる1人と、無関心な1人では、「個」の発揮する力が違います。

10周年は、これまでの歩みを真摯（しんし）に見つめるとともに、これからの香取市を考える機会でもあります。旧市町の良き特色を大切にしながらも、香取市として飛躍していくために、一人でも多くの人が地域と関わり、誇りと愛着を持てるまちに育て、ともに歩んでいけたら――。

その道が、確かな一本の道となって続くように。

式典で上映された 記念ビデオを見よう!

左のアイコンを携帯またはスマートフォンで読み取るか、次のアドレスを参照してください。

HP http://www.city.katori.lg.jp/